



新女壽仙

特 別
^5
6621



田文庫



右

式子内親王
みまの

いとほしくうらなげらるる

あはれしむる

あつら

さる

月

日成



右

伊勢

三編^り心^まい^ま

待見^ま年^む

心^ま板^む赤^む色

初^ま好^む人^むも

わ^まく^むこ^むは^む人^むは



右 冬月卿

んわくをば

梅さき

らりふ

咲初ん

苑とゆわ

みりてん



とく 中務

わらわし

うつあ

ふ

何ん

はらこ

なるん



右

すさのきい
周防内侍

恋の草もくもくはら

うさの

うきいづも

戎

下もえんは

約年



ちれき
ねわ
あつ
おま

うさもわさるれて

ゆき
ねるもろはうきくろ

左

あまの
美衣女御



右

後成あひま女むすめ

身みのこよものこ

面おもて新あらたも

らら知しららししくくて

わわららししくく

ままささらら

ううののななままらら

まま



左

右みぎ近ちか

道みち本もとををささすすののよよ

月つき日ひは

六むゆゆるる兒このの顔かほは

出いででまますす

いいままははううららいい





玉たまもも物ものこころろくくは
 いいつつり
 阿あままりり同どうのの
 ねねるるままれ
 ななげげききははくくままり
 そ
 右う大だい将しょう道どう總そう母ぼ



右う大だい將しょう道どう總そう母ぼ
 待まち賢けん門もん院いん
 河か場ば
 岩いままののままののままののまま
 浪なみななりりや
 花はなささるる見み
 夕ゆふののああままりり
 日ひののああままりり



こと 萩深右衛門
 うきぢりもく
 ちり〜 信ちる
 ちり〜 見ま
 ちり〜 する
 ちり〜 風



右 萩陽門院
 越前
 基 びん
 びん 年
 の 系
 びん びん
 の びん
 の びん



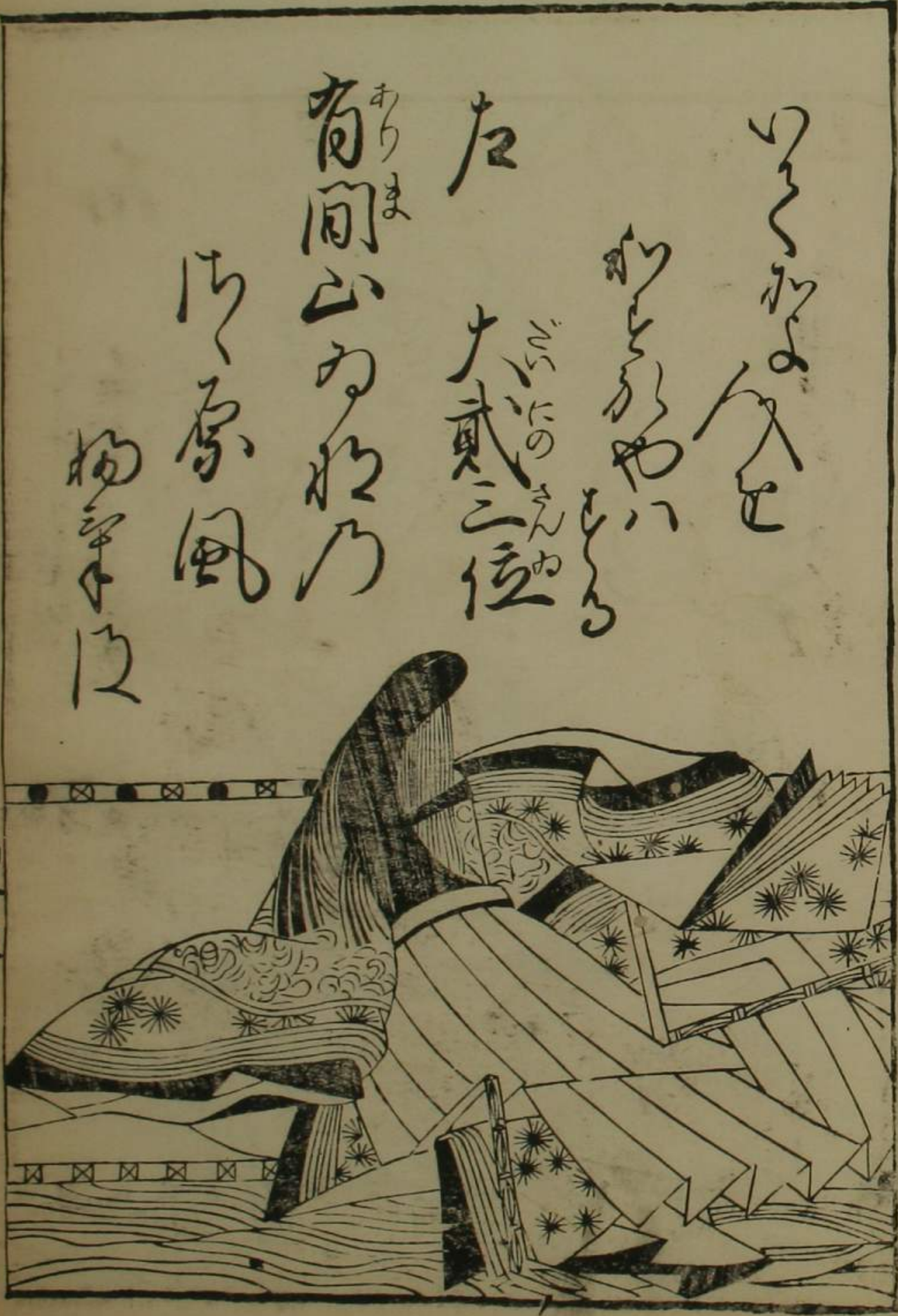


右
 小式部
 志ぬい
 かくらぬ
 なけき
 いま
 力あわね



右
 辨内侍
 志ぬい
 かくらぬ
 なけき
 いま
 力あわね





お 八景院やうのわんのたつぐらの舎

あまのつら

あまのつら

あまのつら

人

あまのつら

あまのつら

あまのつら

あまのつら

あまのつら



ま 高内侍たかのうち

あまのつら

あまのつら

あまのつら

あまのつら

あまのつら

あまのつら



右
 後醍醐院ごたいごういん
 中納言ちゆうなごんごんの
 曲侍まがらひ

ちんごんごん

命いのちよりく

力ちからおす

ちんごんごん

ちんごんごん



左
 一文紀いちもんき伴ばん

うねいよの

しんごんごん

波なみもら

あまの





